

令和7年度の主な防災事業について

1 防災士養成講座

- 〈日 程〉 令和7年7月19日(土)、8月2日(土)、8月3日(日)
- 〈会 場〉 商工センター、総合体育館2階研修室
- 〈参加者〉 40名
- 〈内 容〉 防災士養成講座9時間、救急救命講習3時間、資格取得試験

2 防災士研修

- 〈日 程〉 令和8年2月14日(土)
- 〈会 場〉 商工センター
- 〈参加者〉 200名予定(防災士及び自主防災組織リーダー)
- 〈内 容〉 講師による講話

3 自主防災組織資機材購入費補助事業

自主防災組織の育成・強化を図り、地域防災力の向上に資することを目的に、自主防災組織の防災資機材購入費用の一部を補助する。

令和7年度：26団体(予定)

4 防災体制整備事業

指定避難所に設置した防災備蓄倉庫内の備蓄食料の更新・拡充を行う。

令和7年度：食料、飲料水、おむつ、排泄袋等

5 行田市防災訓練

- 〈日 程〉 令和7年10月25日(土)
- 〈会 場〉 忍中学校
- 〈参加者〉 約200名
- 〈内 容〉
 - 避難訓練(原則徒歩)
 - 啓発ブース(全参加者)
 - 災害食試食(全参加者)
 - 【行田・星宮地区役員等、忍中学校避難所担当者】
 - 避難所開設・受付訓練
 - 防災備蓄倉庫確認
 - 仮設トイレ設置、ダンボールベッド、仕切り設置
 - 備蓄飲料水配布
 - 炊き出し訓練(アルファ米)
 - 【その他地区役員等】
 - 応急手当訓練
 - タンスレスキュー

6 災害時の消防用井戸活用

市内にある消防用井戸を活用し、市民に生活用水を供給する体制を構築する。

〈供給場所〉 消防用井戸の出水量、市民が集まりやすい場所等を考慮し、あらかじめ 96 箇所の候補地を選定

〈供給方法〉 災害時には、この候補地の中から供給可能な場所を選定し、消防団により行政区ごとに供給を行う。

生活用水供給のための資機材購入（自立式簡易水槽、水中ポンプ）

7 行田市水防演習

〈日 程〉 令和7年6月28日（土）

〈会 場〉 旧須加小学校裏 利根川堤防

〈参加者〉 200名（消防団員等）

〈内 容〉 水防工法訓練

8 まちづくり出前講座等

防災に関する出前講座の実施や地域における防災訓練に職員が参加し、市民の防災意識の高揚と知識の向上を図る。

令和7年度：43団体（今後の予定含む）

9 非常用発電装置設置事業

泉小学校に設置

工期：R7.10.20～R8.3.27

契約金額 12,991,000 円

10 水防倉庫更新事業

3か所の水防倉庫を旧須加小学校及び旧北河原小学校の敷地内に集約移設

R7年度末 3か所の水防倉庫除却

11 その他の事業

- ・避難所運営対応力向上研修会
- ・災害時応援協定の締結